

研究成果

りんごのクワコナカイガラムシとナシマルカイガラムシの同時防除

－「ふじの展葉1週間後頃」におけるアプロードフロアブル散布が有効－ りんご研究所

りんごを加害するクワコナカイガラムシとナシマルカイガラムシの防除対策は、これまで別々の時期に行っていました。カイガラムシ類専用のIGR剤（昆虫成長制御剤）であるアプロードフロアブルを用いた効率的な防除技術の確立を目指して試験を実施した結果、「ふじの展葉1週間後頃」に1,000倍液を散布することで、両種を同時防除できることが明らかになったので、紹介します。

「ふじの展葉1週間後頃」のアプロードフロアブル散布の効果

1. クワコナカイガラムシ

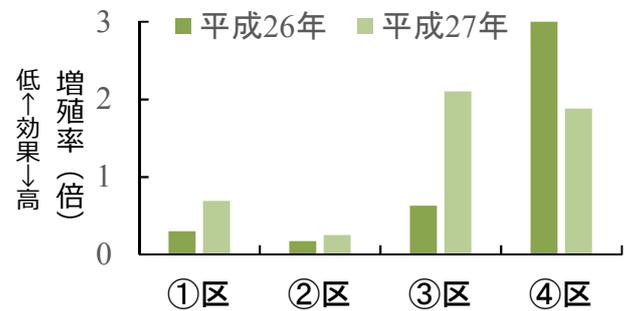


←クワコナカイガラムシによる果実被害

区	薬剤	散布時期	散布方法	散布量 ℓ/10a
①区	アプロード	展葉1週間後頃	SS散布	300
②区	有機リン剤	落花10日後頃 落花20日後頃	手散布 手散布	350 420
③区	有機リン剤	落花15日後頃	SS散布	420
④区	無散布	－	－	－

SS：スピードスプレーヤ

◆従来、発生が多い場合には「ふじの落花10日後頃」と「落花20日後頃」に有機リン剤の手散布による胴木洗いで防除していました。



有機リン剤の手散布よりも効果は劣りますが、SS散布できることにより労力が軽減され、さらに春季の散布量が少ないことでコストも低くできます。

2. ナシマルカイガラムシ



←ナシマルカイガラムシによる果実被害

区	薬剤	散布時期	散布量 ℓ/10a
①区	アプロード	展葉1週間後頃	300
②区	マシン油50倍	発芽前	250
③区	アプロード	開花直前	320
④区	無散布	－	－

◆従来、発生が多い場合には「発芽前」のマシン油乳剤50倍液又は「ふじの開花直前」のアプロードフロアブル1,000倍液の散布で防除していました。



従来の方法に比べ効果が高いことがわかりました。「発芽前」散布の労力が不要となり、「開花直前」散布よりもコストを低くできます。

お問い合わせ りんご研究所 病虫部 (TEL 0172-53-6132)



編集・発行

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 農林総合研究所（農林部門）

〒036-0522 青森県黒石市田中82-9 TEL 0172-52-4346 FAX 0172-40-4161

ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/nousouken/>